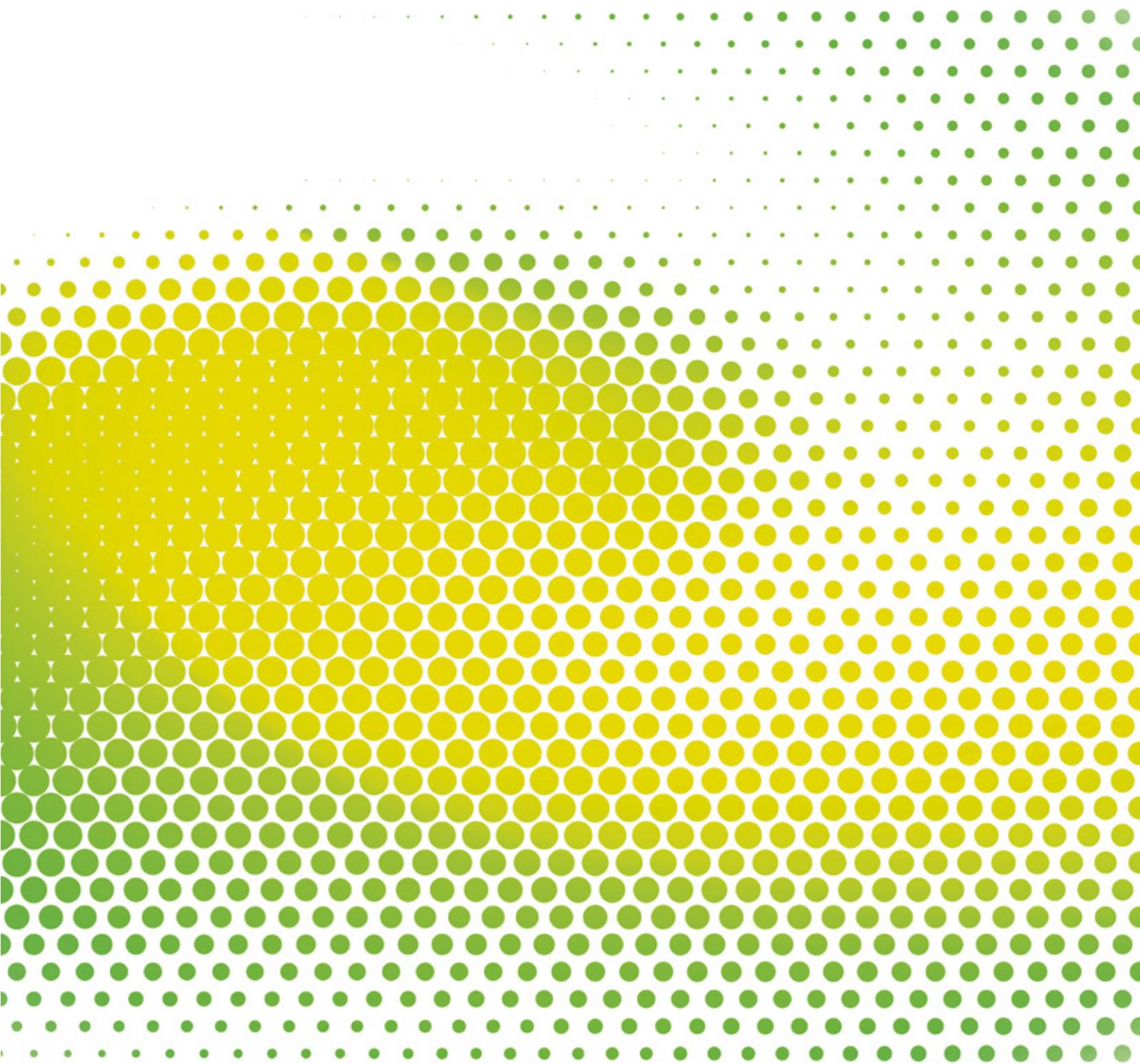




一般社団法人 日本ボイラ協会  
Japan Boiler Association

<https://www.jbanet.or.jp>

# 日本ボイラ協会のご案内



## 検査・検定

厚生労働大臣の登録を受けた登録製造時等検査機関、登録性能検査機関及び登録個別検定機関として、ボイラー及び第一種圧力容器の製造時等検査及び性能検査や第二種圧力容器、小型ボイラー及び小型圧力容器の個別検定を実施しています。また、輸出するボイラー等についてもご依頼に基づき第三者検査機関として検査を実施しているほか、依頼に応じて各種の検査等を行っています。



ボイラー性能検査状況

## 講習・相談

都道府県労働局長に登録された登録教習機関として、支部ではボイラー取扱技能講習など資格の取得のための講習を行うほか、ボイラー実技講習、小型ボイラー取扱業務特別教育、能力向上教育、安全衛生教育等の各種教育講習、ボイラー技士免許試験受験準備講習等を実施しています。また、相談員を配置し、事業場の要請に応じて、事故防止、水管理、燃焼、省エネルギー及び環境安全などの技術的な問題等についての相談・援助を行っています。

### ボイラー実技講習

ボイラー実技講習は、二級ボイラー技士免許の交付要件の一つに位置づけられている講習であり、ボイラー取扱いなどの実務経験のない方のための講習です。免許試験の受験前または免許試験に合格したあとに受講することができます。

### ボイラー取扱技能講習

通称「小規模ボイラー」の取扱いに従事するのは、ボイラー取扱技能講習を修了した者でなければなりません。本講習は、その資格を取得するための講習です。

### (普通・化学設備関係) 第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習

事業者が化学設備関係又はそれ以外の第一種圧力容器の取扱作業主任者を選任するには、一定の技能講習を修了した者でなければなりません。本講習は、その資格を取得するための講習です。

### 小型ボイラー取扱業務特別教育

「小型ボイラー」の取扱いに従事するのは、事業者等が行う小型ボイラー取扱業務特別教育を受けた者でなければなりません。本教育は、事業者に代わって実施するものです。

## 性能検査

ボイラー及び第一種圧力容器は、高温、高圧で使用されることから、胴や管等に腐食、割れ等の損傷を生じる恐れがあります。このため、労働安全衛生法で年1回定期的に厚生労働大臣の登録を受けた登録性能検査機関の行う性能検査を受けることが定められています。

## 個別検定

第二種圧力容器、小型ボイラー及び小型圧力容器は内部に高い圧力の気体や流体を保有することから、構造規格でその構造、使用材料等が定められ、また、製造時又は輸入時に厚生労働大臣の登録を受けた登録個別検定機関の行う個別検定を受けることが定められています。

## 製造時等検査

ボイラー及び第一種圧力容器を製造した時は構造検査及び溶接検査を、また、輸入した時等は使用検査を受けることが労働安全衛生法で定められています。

## 能力向上教育・安全衛生教育

労働安全衛生法の規定に基づき、労働災害の防止のための業務に従事する者(ボイラー取扱作業主任者、普通及び化学設備関係第一種圧力容器取扱作業主任者)や危険又は有害な業務に現に就いている者(ボイラー技士、ボイラー溶接士、ボイラー整備士)に対して行う、当該業務に関する能力の向上を図るための教育です。

### ボイラー技士等免許試験受験準備講習

二級、一級、特級のボイラー技士やボイラー溶接士免許試験を受験しようとする方を対象に、受験のポイントをわかりやすく説明し、合格をめざして行う受験準備のための講習です。

### 二級ボイラー技士免許試験通信教育

二級ボイラー技士免許試験を受験しようとする方に向けて、効率的、効果的に自己学習を行うためのお手伝いとして、通信講座を開設しています。



ボイラー実技講習風景

## 広報・出版

定期刊行物として機関誌「ボイラ研究」(隔月)、「ボイラ・ニュース」(毎月)を発行するほか、毎年「ボイラ一年鑑」を発行し、会員等に配布しています。

機関誌「ボイラ研究」は1947年の創刊以来、学術誌としてボイラー・压力容器等に関する事故防止、省エネルギー、環境保全等についての調査研究結果や改善事例、災害事例などを掲載しています。

機関誌「ボイラ・ニュース」は1949年の創刊以来、ボイラー・压力容器等に関する行政の動向、海外の情報、協会の活動情報等をタイムリーに掲載しています。

「ボイラ一年鑑」は、過去1年間の我が国におけるボイラー・压力容器に関する行政や技術の動向、ボイラー・压力容器の設置状況等の資料をとりまとめ掲載しています。

さらに、ボイラー・压力容器を取扱うボイラー技工士、ボイラー溶接士の養成、能力向上を図るため、各種講習会用テキスト、ボイラー技工士等免許試験の受験用テキスト、ボイラー・压力容器に関する法規関係の図書、燃焼、水管理、取扱い等の技術専門書を発行・出版しています。

また、視聴覚教育用のボイラー技工士教育シリーズとしてDVDを製作・販売しています。



機関誌及びボイラ一年鑑



各種専門図書及びテキスト等

## 安全管理審査

経済産業大臣の登録を受けた登録安全管理審査機関として、電気事業法に基づく次の安全管理審査業務を、公正・中立、かつ的確に行っています。

なお、実地審査につきましては、従来の対面審査の他に、オンラインによる審査も行っています。

### 使用前安全管理審査

対象は、火力発電所、風力発電所、太陽電池発電所、燃料電池発電所及び需要設備です。

### 定期安全管理審査

対象は、火力発電所、風力発電所及び燃料電池発電所です。



オンライン審査風景

## 調査・研究

ボイラー・压力容器その他のエネルギー機器等に関する我が国唯一の学術研究団体として、これら機器等の災害の防止、地球環境の保全、温暖化の防止や省エネルギーに寄与するため、調査・研究委員会を常設し、これら機器等の製造、工作、取扱いのための技術、管理等について調査研究を行い、その成果を広く公表しています。また、これらの機器等の技術的課題について、行政官庁等からの依頼に基づく調査研究や日本産業規格(JIS)の原案作成者として該当JIS改正活動等も行っています。

さらに、これらの機器等に関連した科学技術分野の独創性のある調査・研究に対して助成を行っています。

### ボイラー構造、压力容器構造分野

ボイラー・压力容器の製造技術等の高度化に対応するため、材料、構造、工作、試験、検査等の諸問題について調査研究を行っています。

### 溶接分野

ボイラー及び压力容器の製造に必要な主要材料、溶接工作の技術に関する諸問題を始め、溶接技術の基準などについて調査研究を行っています。

### 燃焼分野

地球温暖化や大気汚染、燃焼設備の事故防止のため、ボイラー燃料の多様化・脱炭素化に対応する燃焼技術や二酸化炭素の回収・有効利用・貯留について調査研究を行っています。

### 水管理分野

ボイラーの高性能化、高負荷運転に伴うボイラーの水管理技術、環境保全の観点から排水処理等の諸問題について、ボイラー系統内処理、補給水処理及び排水処理等の調査研究を行っています。

## 取扱い・制御分野

ボイラー・圧力容器の運転技術や保守・点検技術等の諸問題、自動制御装置の管理基準について調査研究を行っています。

## 地震対策分野

ボイラーの耐震設計基準、地震発生時及び発生後の対策等の諸問題について調査研究を行っています。

## 省エネルギー分野

地球温暖化の防止対策や省エネルギー対策として、ボイラーの燃焼の効率化、排ガスの熱回収、蒸気の適正使用、保温やドレン回収などについて調査研究を行っています。

## 附属品分野

安全弁、水面計などボイラー・圧力容器の附属品の技術の進歩に対応するため、材料、構造及び性能の基準等について調査研究を行っています。



委員会風景

## 普及・啓発

当協会は1949年に11月8日を「ボイラーデー」として主唱し、ボイラーの安全確保や省エネルギー・地球環境保全等について、関係者の意識の高揚を図るための運動を全国的に展開しています。

「ボイラーデー」にちなんだ行事の一環として全日本ボイラー大会を開催し、優良ボイラー技士等の表彰、特別講演、研究発表、パネルディスカッション、ボイラーメーカー等のカタログの展示を行っています。

また、ボイラー・圧力容器製造事業場の工作責任者が一堂に会する全国工作責任者大会を開催し、ボイラー・圧力容器構造規格に関する事項、使用材料及び溶接など工作法等の諸問題の技術討論とこれらに関連した特別講演などを行っています。

ボイラー溶接士の技能の向上と安全意識の高揚を目的として、1971年から被覆アーク溶接の部(厚板・中板)、炭酸ガスアーク溶接の部を競技種目として全日本ボイラー溶接士コンクールを開催しています。部門優勝者には厚生労働大臣賞等が授与され、本コンクールに参加し溶接技能証明を受けた溶接士は、溶接実績がなくても免許の更新を受けることができます。



全日本ボイラー大会表彰式



全日本ボイラー大会



全日本ボイラー溶接士コンクール



全国工作責任者大会

## 海外との技術交流

ボイラー・圧力容器について、国際的な技術交流を進め、調査団による視察や技術交流を行っています。

# 一般社団法人日本ボイラ協会は…

ボイラー・圧力容器その他のエネルギー機器等による災害の防止、地球温暖化や大気汚染の防止、省エネルギーの推進に寄与するため、ボイラー・圧力容器についての調査研究、検査検定、講習・相談、広報・出版、技術交流の場の提供などを行っています。

## 協会概要

名称	一般社団法人 日本ボイラ協会
略称	JBA (Japan Boiler Association)
所在地	〒105-0004 東京都港区新橋 5-3-1 TEL 03 (5473) 4500 (代) FAX 03 (5473) 4520 ホームページ <a href="https://www.jbanet.or.jp">https://www.jbanet.or.jp</a>
設立	1946年11月27日
組織	本部、支部、検査事務所

登録機関	登録製造時等検査機関(厚生労働大臣登録) 登録性能検査機関(厚生労働大臣登録) 登録個別検定機関(厚生労働大臣登録) 登録教習機関(都道府県労働局長登録) 登録ボイラー実技講習機関(都道府県労働局長登録) 登録安全管理審査機関(経済産業大臣登録) 登録建築物石綿含有建材調査者講習機関(東京労働局長登録)
------	--

## 協会の歩み

1934年	4月	「汽罐協会」(日本ボイラ協会の前身)発足
1946年	11月	「日本汽罐協会」として新たに創立
1949年	5月	「日本ボイラ協会」と改称
1949年	11月	11月8日をボイラーデーと定め、全国的運動として展開
1950年	1月	社団法人設立(所轄:労働省)
1951年	5月	第1回溶接工作責任者総会(全国工作責任者大会の前身)の開催
1953年	6月	ボイラー及び第一種圧力容器の性能検査の代行業務の開始
1963年	10月	第1回全日本ボイラー大会の開催
1972年	10月	ボイラー取扱技能講習等の教習業務の開始
1975年	12月	小型ボイラー、小型圧力容器の個別検定業務の開始
1995年	3月	財団法人日本適合性認定協会からマネジメントシステム審査登録機関として認定(2023年3月事業廃止)
2013年	4月	一般社団法人に移行(所轄:内閣府)
2018年	3月	電気事業法に基づく登録機関として発電設備の安全管理審査業務の開始

# ご入会のお勧め

次の会員特典を提供いたします。

## ■ 刊行物の無料配布

- 「ボイラ・ニュース」(毎月)の無料配布
- 「ボイラ研究」(隔月)の無料配布  
ボイラー・圧力容器に関する研究論文等を掲載した協会機関誌
- 「ボイラー年鑑」(年1回)の無料配布  
ボイラー・圧力容器に関する技術情報、行政の動向、災害情報、ボイラ協会の活動等を掲載  
(特級・1級・2級会員)

## ■ ボイラー・圧力容器安心保険(有償)への加入

会員のみが加入できる火災保険では担保されないボイラー(含む付属設備)の損害を補償する保険

## ■ 全日本溶接士コンクール

- 参加費無料
- 入賞者には、全日本ボイラー大会時に優勝者(厚生労働大臣賞等)ならびに入賞者(日本ボイラ協会長賞)を表彰

## ■ 全国工作責任者大会

- 参加費の割引
- カタログ・パネル展示コーナー出展料の割引

## ■ 全日本ボイラー大会

- 優良事業場、優良ボイラー技士等に対する会長表彰
- 技術高度化奨励賞への応募、表彰
- カタログ・パネル展示コーナー出展料の割引

## ■ 講習会等

- 特級ボイラー技士免許試験受験準備講習受講料の割引
- ボイラー・圧力容器関係法令基礎講座受講料の割引
- 技術講習会受講料の割引
- 建築物石綿含有調査者講習テキストの割引・先行受付

## ■ その他

- 「ボイラ研究」掲載論文・解説、事故情報・事例、統計等データ、関係法令・通達などの情報提供
- ボイラー・圧力容器に関する各種講習会の一部テキスト等の割引(一部) など

※ 弊会ホームページ「入会のご案内」をご参照ください。



◀ 左のQRコードで当協会ホームページに移ることができます